

# 1. 手話通訳設置・派遣サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準	
I-1 手話通訳設置・派遣サービスの基本方針	I-1-(1) 手話通訳設置・派遣サービスの実施に関する基本姿勢が明文化されている	I-1-(1)-① 手話通訳設置・派遣事業経営の理念が明文化されている	a 経営母体の定款等に記載されている目的と、それに基づくサービスの実施にあつたての理念を明文化している	
			b —	
			c 経営母体の定款等に目的は掲載されているが、それに基づくサービスの実施にあつたての理念を明文化していない	
		I-1-(1)-② サービス実施機関としての基本方針が明文化されている	a 経営理念に基づくサービス実施機関の方針を明文化している	
			b —	
			c 経営理念に基づくサービス実施機関の方針を明文化していない	
		I-1-(1)-③ 経営理念や基本方針の内容は適切である	a 経営理念や基本方針に、役割や機能を具体的に記載している	
			b —	
			c 経営理念や基本方針に、役割や機能を具体的に記載していない	
	I-1-(2) 理念や基本方針を内外に周知している	I-1-(2)-① 経営理念や基本方針を職員に周知している	a 経営理念ならびに基本方針のいずれも、記載されている書面を職員に配布する他、周知するために積極的な取り組みを行っている	
			b —	
			c 経営理念ならびに基本方針のいずれも、記載されている書面を職員に配布しているが、それ以外の取り組みを行っていない	
I-1-(2)-② 経営理念や基本方針を利用者に周知している		a 経営理念や基本方針を会報や印刷物に掲載し、配布をしている他、利用者やその家族に理解してもらうための取り組みを行っている		
		b —		
		c 経営理念や基本方針を会報や印刷物に掲載し、配布をしているが、それ以外の具体的な取り組みは行っていない		
I-2 サービス実施機関の運営	I-2-(1) 機関の運営に関する諸規程が定められている	I-2-(1)-① 機関内の組織について、職制・職務分掌を明確にしている	a それぞれの業務に対する分担や責任の所在を明確にした規定が定められており、職員が理解するための取り組みを行っている	
			b —	
			c それぞれの業務に対する分担や責任の所在を明確にした規定が定められているが、職員が理解するための取り組みを行っていない	
		I-2-(2) 機関の運営が適切に行われている	I-2-(2)-① サービスの質の向上に向けた検討が行われている	a 実施するサービスの質の向上を目的とした委員会（例、QC委員会）等を組織して、定期的かつ継続的に検討を行っている
				b 実施するサービスの質の向上を目的とした委員会等を組織しているが、定期的かつ継続的に検討を行っていない
				c 実施するサービスの質の向上を目的とした委員会等を組織していない
	I-2-(2)-② サービスの質の向上に向けた取り組みが行われている			a 検討内容や結果が記録されているとともに、検討結果が業務改善に反映されている
				b 検討内容や結果が記録されているが、検討結果が業務改善に反映されていない
				c 検討結果や結果が記録されておらず、業務改善への反映もされていない
	I-2-(2)-③ 業務改善に関する職員の意見を把握している		a 機関の責任者は、定期的な会議や委員会の他に、「業務改善提案書」を職員から募集する等、業務改善に関する取り組みを行って職員の意見を継続的に把握している	
			b —	
			c 機関の責任者は、定期的な会議や委員会において業務改善に関する職員の意見を把握していない	
	I-2-(2)-④ 職員の意見に基づき業務改善がなされている		a 職員の意見に基づき業務改善がなされている	
			b —	
			c 職員の意見に基づき業務改善がなされていない	

	I-2-(3) 利用者の意見を大切にしている	I-2-(3)-① 機関の運営に関して利用者の意見を聞くための取り組みを行っている	a 日常的に利用者と接する場面で利用者の意見を聴取する他、利用者の会や家族会において利用者の意見を聞く等の取り組みを行っている b — c 日常的に利用者と接する場面で利用者の意見を聴取する以外には、利用者の意見を聞く等の取り組みは行っていない		
		I-2-(3)-② 利用者の意見を取り入れるための検討を行っている	a 出された意見については必ず検討が行われており、その対応について利用者の会や家族会への説明や報告がなされている b 出された意見については必ず検討が行われているが、その対応について利用者の会や家族会への説明や報告がなされていない c 出された意見について検討がなされていない		
I-3 計画の策定	I-3-(1) サービスの質の向上に向けた中・長期的な計画を策定している	I-3-(1)-① 実施するサービスに関する中・長期的な課題を把握している	a サービス内容やサービス実施体制について分析を行い、中・長期的な課題や問題点を把握している		
			b サービス内容やサービス実施体制について分析を行っているが、中・長期的な課題や問題点を把握していない		
			c サービス内容やサービス実施体制について分析を行っていない		
		I-3-(1)-② 課題や問題点に対する取り組みの計画を策定している	a 目標を設定するとともに、その目標に向けた取り組みに関する3年間程度の年次計画を策定している		
			b 目標を設定しているが、その目標に向けた取り組みに関する3年間程度の年次計画を策定していない		
			c 目標を設定していない		
	I-3-(2) サービスの質の向上を意図した事業計画を策定している	I-3-(2)-① 当該年度の事業計画が適切に策定されている	a 当該年度の事業計画が具体性のある内容で策定されており、目標に向けた取り組みに関する年次計画も具体的に反映されている		
			b 当該年度の事業計画が具体性のある内容で策定されているが、目標に向けた取り組みに関する年次計画も具体的に反映されていない		
			c 当該年度の事業計画が具体性のある内容で策定されていない		
		I-3-(2)-② 事業計画の実施状況に関する評価を行っている	a 職員及び利用者の意見を聞く等、当該年度の事業計画に関する実施状況及び結果の評価が行われている		
			b 職員の意見を聞いて、当該年度の事業計画に関する実施状況及び結果の評価が行われている		
			c 当該年度の事業計画の実施状況及び結果に関する評価が行われていない		
I-4 職員の資質向上	I-4-(1) 職員の質向上に向けた基本姿勢を明示している	I-4-(1)-① 職員の質の向上に関する目標を設定している	a 機関・経営母体として職員の知識や技術等の習得に関する目標を明文化している b — c 機関・経営母体として職員の知識や技術等の習得に関する目標を明文化していない		
			I-4-(1)-② 研修を推進していくための担当者を設置している	a 機関として職員研修を一元的に推進するための担当者を設置している b — c 機関として職員研修を一元的に推進するための担当者を設置していない	
				I-4-(2) 職員の研修体制が確立している	I-4-(2)-① 職員の研修ニーズに基づく研修計画を策定している
		I-4-(2)-② 研修計画に基づく研修機会を確保している			

## II. 地域等との関係

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準
II-1 地域社会との連携	II-1-(1) 地域とのつながりを強めるため に取り組んでいる	II-1-(1)-① 必要な社会資源を明確にしている	a 自らの機関等の役割や機能を達成するために必要となる関係諸機関・団体等が明確になっている
			b —
			c 自らの機関等の役割や機能を達成するために必要となる関係諸機関・団体等が明確になっていない
		II-1-(1)-② 関係機関・団体等との連携を図るための取り組みを行っている	a それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている
			b —
			c 関係諸機関・団体とは適宜、必要に応じた連携の機会を確保している
II-2 聴覚障害者問題・手話等の啓発	II-2-(1) 手話学習等の協力要請に応えるための取り組みを行っている	II-2-(1)-① 地域の関係機関・団体等からの手話学習等の協力要請に応えるための取り組みを行っている	a 地域の関係機関・団体等の手話学習等への協力の必要性を明文化し、協力要請に応える取り組みを行っている
			b —
			c 地域の関係機関・団体等の手話学習等への協力の必要性は明文化していないが、協力要請に応える取り組みを行っている
		II-2-(1)-② 手話学習等の要請に協力するための取り組みを地域の関係機関・団体等に周知している	a 手話学習等の要請に協力するための取り組みを地域の関係機関・団体等に周知している
			b —
			c 手話学習等の要請に協力するための取り組みを地域の関係機関・団体等に周知していない
	II-2-(2) 学習計画を策定し、効果的な指導ができる取り組みを行っている	II-2-(2)-① 対象、場面にあった学習計画を策定している	a 小・中・高等学校、病院、企業等対象者や対象に合った学習計画を策定し、適切な学習が進められている
			b —
			c 小・中・高等学校、病院、企業等対象者や対象に合った学習計画を策定し、適切な学習が進められていない
		II-2-(2)-② 利用者の意見を盛り込んだ学習計画を策定している	a 利用者の意見を聴取し、学習計画に反映させている
			b —
			c 利用者の意見を聴取し、学習計画に反映させていない
II-3 福祉人材の育成	II-3-(1) 実習生の受け入れが適切に行われている	II-3-(1)-① 実習生の受け入れに関する基本的な考えを明示している	a 実習生の受け入れに関する機関としての基本的な考え方や方針が明文化されている
			b —
			c 実習生の受け入れに関する機関としての基本的な考え方や方針が明文化されていない
		II-3-(1)-② 実習生を受け入れる体制が整備されている	a 実習生の受け入れにあたり担当者を選任し、説明資料の作成のもとにオリエンテーションを行っている
			b 実習生の受け入れにあたり担当者を選任していないが、説明資料の作成のもとにオリエンテーションを行っている
			c 実習生の受け入れにあたり担当者を選任していないし、説明資料の作成のもとにオリエンテーションも行っていない
		II-3-(1)-③ 効果的な実習を行うための工夫がなされている	a 実習目的に応じて、効果的な実習が行われるための工夫をしている
			b —
			c 実習目的に応じて、効果的な実習が行われるための工夫をしていない
		II-3-(1)-④ 実習生の受け入れにあたり、サービス利用者の意向を尊重している	a 実習生の受け入れにあたり、提示するとともに利用者の会・家族会等で事前に説明し、実習生を忌避する利用者等に対する配慮を行っている
			b —
			c 実習生の受け入れにあたり、提示や利用者の会・家族会等での事前説明をしていない
	II-3-(2) 地域の手話サークル活動への支援方針を明示している	II-3-(2)-① 地域の手話サークル活動への支援計画を策定している	a 地域の手話サークル活動を支援する方針や支援計画を明示している
			b —
			c 地域の手話サークル活動を支援する方針や支援計画を明示していない

	II-3-(2)-② 地域の手話サークル活動への支援が適切に行われている	a	地域の手話サークル活動を支援する姿勢があり、適切に行われている
		b	—
		c	地域の手話サークル活動を支援する姿勢見られない

### Ⅲ. 対等なサービス利用関係の構築

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準
Ⅲ-1 サービス開始 時の対応	Ⅲ-1-(1) 手話通訳を行 う場合のアク セスが容易に なるよう配慮 されている	Ⅲ-1-(1)-① 手話通訳依頼のため の情報提供がされて いる	a 依頼方法や手話通訳者についての情報は、パンフレット配布やインターネットでの発信、障害者団体への案内等さまざまな方法によって十分提供されている
			b 依頼方法や手話通訳者についての情報は、問い合わせに応じて提供されている
			c 依頼方法について特に情報提供はしていない
		Ⅲ-1-(1)-② 手話通訳依頼は、適 宜、容易に行えるよ う配慮されている	a 依頼は、来所、FAX、メール、電話、郵送、手話通訳者の報告等あらゆる手段でできるように配慮されている
			b 依頼は緊急時に備え緊急通報FAX用紙、メールが整備されている
			c 依頼は、来所、郵送等で押印が必要である
		Ⅲ-1-(1)-③ 手話通訳依頼の受付 時間は緊急対応に配 慮がある	a 依頼から派遣までの機関や受付時間に決まりはあるが、派遣時間外でも緊急やむをえない場合は、対応が配慮されている
			b 依頼から派遣までの機関や受付時間に決まりはあるが、派遣時間内で緊急やむをえない場合は、対応が配慮されている
			c 依頼から派遣日までの期間や受付時間に決まりがあり、緊急対応に配慮がない
	Ⅲ-1-(2) 手話通訳派遣 を行うための 配慮がされて いる	Ⅲ-1-(2)-① コーディネートをす る設置通訳者がいる	a 設置通訳者には厚生労働省認定の手話通訳士を配置し、コーディネートしている
			b 設置通訳者には都道府県認定の手話通訳者を配置し、コーディネートしている
			c a及びbに該当する職員が配置されていない
		Ⅲ-1-(2)-② 手話通訳内容に関す る情報収集と情報の 整理、事前に資料等 の入手や情報収集が できている	a 手話通訳内容、日時、場所、待ち合わせ時間等の確認ができており、事前に資料の入手や情報収集がある
			b 手話通訳内容、日時、場所、待ち合わせ時間等の確認ができており、事前に資料の入手や情報収集がない
			c 手話通訳内容、日時、場所待ち合わせ時間の確認及び資料等の入手や情報収集ができていない
		Ⅲ-1-(2)-③ 利用者の理解と手話 通訳方法の検討及び 手話通訳者への伝達 ができています	a 訴えの内容や意図が確認でき、コミュニケーション方法の検討や手話通訳者への伝達がある
			b —
			c 訴えの内容や意図が充分につかめず、コミュニケーション方法の検討や手話通訳者への伝達できていない
		Ⅲ-1-(2)-④ 手話通訳の場所にお ける物理的、心理的 条件に関する情報収 集と検討がなされて いる	a 事前に手話通訳環境の整備に関する情報収集と調整があり、現場でのストレスが小さい
			b 事前に手話通訳環境の整備に関する情報収集と調整はあるが充分でなく、現場でのストレスがある
			c 事前に手話通訳環境の整備に関する情報収集と調整はなく、現場でのストレスは大きい
Ⅲ-1-(2)-⑤ 利用者の状況等に関 する情報を職員が共 有化している		a 利用者の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取り組みが行われ、効果が認められる	
		b 利用者の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取り組みが行われているが、効果が認められない	
		c 利用者の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取り組みが、行われていない	
Ⅲ-1-(3) 利用者の依頼 の主旨が明確 でない場合の 対応が適切に なされている	Ⅲ-1-(3)-① 手話通訳に関わる専 門職が設置されて いる	a 手話通訳士、手話通訳者又はろうあ者相談員等により、依頼の主旨を明確にするための支援があり、依頼の主旨について本人確認が行われている	
		b 手話通訳士、手話通訳者又はろうあ者相談員等により、依頼の主旨を明確にするための支援があるが、依頼の主旨について本人確認が行っていない	
		c 利用者が充分理解しておらず、対応できていない	

#### IV. 手話通訳設置・派遣サービス実施計画の確立

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準	
IV-1 手話通訳設置・派遣サービスの実施	IV-1-(1) 手話通訳利用者と関係者との調整	IV-1-(1)-① 手話通訳利用者及び関係者と手話通訳者との調整が適切におこなわれている	a	手話通訳者は自己紹介や、手話通訳目的の説明を適切に行い、利用者や、関係者との適切な関係を作ることができており、関係者との適切な関係作りが充分されている
			b	手話通訳者は自己紹介や、手話通訳目的の説明を適切に行い、利用者や、関係者との適切な関係を作ることができているが、関係者との適切な関係作りが不十分でない
			c	手話通訳者は自己紹介や手話通訳目的の説明を行っていない
		IV-1-(1)-② 手話通訳利用者のコミュニケーション方法の調整が行われている	a	利用者の属性を把握し、利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択し、使用している
			b	利用者の属性の把握、利用者に合わせたコミュニケーション方法の選択と利用が十分ではない。
			c	利用者の属性を把握せず、利用者に合わせたコミュニケーション方法の選択をしていない
		IV-1-(1)-③ 手話通訳利用者及び関係者と手話通訳者が互いに配慮しあうことの確認ができています	a	聴覚障害者のコミュニケーション保障のため、手話通訳者がつくことを関係者に周知し、留意事項が守られている
			b	聴覚障害者のコミュニケーション保障のため、手話通訳者がつくことを関係者に周知しているが、留意事項は守られていない
			c	聴覚障害者のコミュニケーション保障のため、手話通訳者がつくことを関係者に周知していない
	IV-1-(2) 手話通訳の条件整備	IV-1-(2)-① 手話通訳を行なうための物理的条件の調整ができています	a	効果的な手話通訳を行うための、物理的条件がすべてそろっている
			b	効果的な手話通訳を行うための、物理的条件が不十分である
			c	効果的な手話通訳を行うための、物理的条件が整っていない
		IV-1-(2)-② 複数の手話通訳者が関わる通訳において、通訳者間の調整ができています	a	複数の通訳者が関わる通訳において、通訳者間で十分な調整が行われ効果的な通訳ができています
			b	複数の通訳者が関わる通訳において、通訳者間で調整が行われるが、効果的な通訳ができていない
			c	複数の通訳者が関わる通訳において、通訳者間で調整が行われていない
	IV-1-(3) 手話通訳中の調整	IV-1-(3)-① 場面に応じた通訳スタイルや方法が的確に選択されている	a	時、場所、場合に応じた通訳スタイルや方法が的確に選択されている
			b	時、場所、場合に応じた通訳スタイルや方法の的確な選択が十分ではない
			c	時、場所、場合に応じた通訳スタイルや方法が的確に選択されていない
IV-1-(3)-② 手話・音声以外のコミュニケーション手段の選択・活用が的確である		a	手話通訳利用者が手話・音声だけでは十分なコミュニケーション保障を得られないため、手話以外のコミュニケーション手段を併用、十分なコミュニケーションが保障できている	
		b	手話通訳利用者が手話・音声だけでは十分なコミュニケーション保障を得られないため、手話以外のコミュニケーション手段を併用したが、十分なコミュニケーションが保障できていない	
		c	手話通訳利用者が手話・音声だけで十分なコミュニケーション保障を得ていないことがわからず、手話以外のコミュニケーション手段を併用しなかった	
IV-1-(3)-③ 通訳中、対象者に正しく伝わっているか確認ができています		a	通訳中、フィードバックが十分されている	
		b	通訳中、部分的にフィードバックがされている	
		c	通訳中、フィードバックがされていない	

V. 手話通訳設置・派遣サービス実施に関する評価と評価の反映

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準
V-1 手話通訳設置・派遣サービス実施に関する評価	V-1-(1) 手話通訳設置・派遣サービスの実施に関する評価を行っている	V-1-(1)-① コミュニケーションが当初目的にそって充分保障できたか確認されている	a 依頼内容の達成状況に加えて、情報の交換の度合い、人間関係作りなどについて十分フィードバックが行われている
			b 依頼内容の達成状況についてのみフィードバックが行われている
			c フィードバックが行われていない
		V-1-(1)-② 利用者の情報がサービス実施計画の責任者に確実に伝わる仕組みがある	a 利用者の状況の変化等に関する情報が、その利用者のサービス実施計画の責任者に確実に伝達されるための体制を整備している
			b —
			c 利用者の状況の変化等に関する情報が、その利用者のサービス実施計画の責任者に確実に伝達されるための体制を整備していない
		V-1-(1)-③ 手話通訳実施計画に基づく実施状況に関する振り返りがなされている	a 利用者の情報をふまえ、あらかじめ定められた時期に、設定されている目標に対する実施・達成状況を評価している
			b —
			c 利用者の情報をふまえ、あらかじめ定められた時期に、設定されている目標に対する実施・達成状況を評価していない
	V-1-(2) 手話通訳設置・派遣サービスの過程で発生したトラブル、課題への対応方法が確立されている	V-1-(2)-① 手話通訳過程で発生したトラブルへの対処方法について確認されている	a トラブルの原因、対処方法・予防方法が整っている
			b —
			c トラブルの原因、対処方法・予防方法が整っていない
V-1-(2)-② 手話通訳過程で発生した課題の整理と課題の社会化が図られている		a 手話通訳技術・実践上のことに加えて、手話通訳利用者や手話通訳者を取り巻く社会的・心理的課題、社会問題を聴覚障害者等の関係団体と共に協議できる機関があり課題整理が行われている	
		b 手話通訳技術・実践上のことについて聴覚障害者等の関係団体と共に協議できる機関があり、課題整理が行われている	
		c 手話通訳技術・実践上のこと等について聴覚障害者等の関係団体と共に協議できる機関がなく、課題整理が行われていない	
V-2 手話通訳設置・派遣サービス実施に関する評価の反映	V-2-(1) 評価結果を手話通訳設置・派遣サービス実施計画に反映している	V-2-(1)-① 手話通訳実施計画の見直しが行われている	a 実施・達成状況の評価をふまえて、必要な場合には実施計画の変更が行われている
			b —
			c 実施計画の事後評価をふまえて、実施計画の変更が行われていない
		V-2-(1)-② 手話通訳実施計画の見直しにあたり、利用者等の意向に配慮している	a 実施計画の変更にあたっては、利用者や家族等に説明し、その意向を反映するとともに同意を得ている
			b —
			c 実施計画の変更にあたって、利用者や家族等の意向を反映していない

## VI. 利用者本位の手話通訳設置・派遣サービス実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準	
VI-1 利用者のプライバシー等の保護	VI-1-(1) 利用者のプライバシー等を保護する工夫がなされている	VI-1-(1)-① 利用者のプライバシー等を保護する工夫がなされている	a	利用者のプライバシー等を保護するための工夫がなされている
			b	—
			c	利用者のプライバシー等を保護するための工夫がなされていない
VI-2 利用者の安心と安全の確保	VI-2-(1) 事故防止のための取り組みを行っている	VI-2-(1)-① 発生した事故を把握している	a	サービスの実施時に、発生した事故ならびに事故につながりそうな事例をすべて把握するために組織的な取り組みを行っている
			b	サービスの実施時に、発生した事故を把握するために組織的な取り組みを行っているが、事故につながりそうな事例の把握はしていない
			c	サービスの実施時に、発生した事故ならびに事故につながりそうな事例を把握するために組織的な取り組みを行っていない
		VI-2-(1)-② 事故防止のための具体的な取り組みを行っている	a	発生した事故事例や、事故につながりそうな事例を分析し、事故防止に向けた取り組みを行っている
			b	発生した事故事例や、事故につながりそうな事例を分析はしていないが、事故防止に向けた取り組みを行っている
			c	事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない
	VI-2-(2) 事故や災害発生の対応体制が確立している	VI-2-(2)-① 事故補償(賠償)を行うための方策を講じている	a	利用者に生じた損害等について、想定される保険事故に対応できる(補償)方策を講じている
			b	—
			c	利用者に生じた損害等について、想定される保険事故に対応できる(補償)方策を講じているが、一部対応(補償)できない事故がある



## VII. 機関の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準
VII-1 経営	VII-1-(1) 地域住民等の手話通訳設置・派遣サービスに対するニーズに対応している	VII-1-(1)-① 地域の手話通訳設置・派遣サービスのニーズを把握するための取り組みを行っている	a 機関として、地域の手話通訳設置・派遣サービスのニーズを把握するための取り組みを行っている
			b —
			c 機関として、地域の手話通訳設置・派遣サービスのニーズを把握するための取り組みを行っていない
		VII-1-(1)-② 地域福祉ニーズに基づき新たな事業展開を図っている	a 把握した手話通訳設置・派遣サービスのニーズに基づいて、可能なものについては自機関における新たな事業に加えるなどの展開を図っているか、準備を行っている
			b —
			c 把握したニーズに基づく事業展開や準備を行っていない
	VII-1-(2) 経営状況を的確に把握している	VII-1-(2)-① 機関の経営状況に関する経営分析を行っている	a 手話通訳設置・派遣サービスの質を向上させることを目的とした経営状況の分析を行い、これを活用している
			b —
c 手話通訳設置・派遣サービスの質を向上させることを目的とした経営状況の分析を行っていない			
VII-2 人材の確保、養成	VII-2-(1) 人事管理の体制が整備されている	VII-2-(1)-① 人事に関する方針が定められている	a 職員の質の向上に向けた目標と整合性が確保された職員の採用・異動等、人事に関する方針が明文化されている
			b —
			c 職員の質の向上に向けた目標と整合性が確保された職員の採用・異動等、人事に関する方針が明文化されていない
		VII-2-(1)-② 人事考課が明確かつ客観的な基準によりおこなわれている	a 定期的な人事考課を実施しており、客観性・公平性・透明性を確保するための工夫や、職員の納得を得るための仕組みを整理している
			b 定期的な人事考課を実施しているが、客観性・公平性・透明性に対する工夫がなされていない
			c 定期的な人事考課を実施していない
	VII-2-(2) 職員に対する配慮がなされている	VII-2-(2)-① 職員に対する福利厚生事業が積極的に行われている	a 福利厚生センター等の福利厚生事業に加入しているか、組織として独自の総合的な福利厚生事業を実施している
			b —
c 福利厚生事業への取り組みを実施していない			
VII-3 財務管理	VII-3-(1) 予算管理が適切に行われている	VII-3-(1)-① 事業計画と整合性のある予算編成を行っている	a 当該年度の事業計画を実施するために必要な予算編成がなされている
			b —
			c 当該年度の事業計画を実施するために必要な予算編成がなされていない
		VII-3-(1)-② 予算編成にあたり、サービスや現場の実態と整合性を図るために職員の意見を聴取している	a 予算編成過程において職員の意見を聴取している
			b —
			c 予算編成過程において職員の意見を聴取していない